

ツト
中!

300円)
円(1200円)

び18歳未満は無料
での販売

66-551)TEL: 0570-

ト(Lコード:56574)

WEB: eplus.jp

センター

38

00

パ ラ 人

no.004

アート、あるいは自由な技術

2015 年は、騒然としてスタートした。パリの『シャルリ・エブド』虐殺事件に驚いていたら、それに続くようにイスラム国（らしきグループ）による日本人捕虜の処刑予告の映像がネットに流れた。「表現の自由」「テロとの闘い」をめぐって、さまざまに異なった意見、批判、再批判が入り乱れて、いったい何を信じていいのか分からなくなり、呆然としている人も少なくないだろう。その一方では、批判には一切耳を貸さず、自信満々に自説を主張して憚らない人々もいるのだが、だからといってそうした人を信頼できるわけではない。4 年前の東日本大震災の後もそうだったが、巨大な破壊や暴力事件の直後には、ツイッターをはじめ SNS の雰囲気敏感に一変する。素朴なコメントや率直な意見が封殺されてしまうのである。めったなことを書くと「何も分かっていないくせに、バカか」というような攻撃を受けて、気楽に書く気が萎えてしまうからだ。本当に何も分かっていないバカなつづやきだったら端的に無視すればいいだけなのに、わざわざ攻撃する。人は何によってそうした地獄に導かれるのか？——これは考察に値する問題である。

言葉は、合理的な思考を伝える道具である。とはいえ、もっぱら合理性という観点からみるなら、言葉というのは実に不完全な道具でもある。言葉が伝わるのは、その意味が社会的に共有されているからだ。私たちは、自分で勝手に言葉の定義を与えることができない。たしかに言葉は共有されているから伝わるのである。とはいっても、言葉の定義があらかじめ完全に共有されていることは希である。自然科学や法律の用語は、少なくとも専門家の間では、その定義がある程度共有されているのかもしれない。けれども多くの人にとって、自分の人生や世界にかかわる、重要で切実な問題を考えるための言葉の多くは、その意味が完全に共有されているとは思えない。人々は同じ言葉を用いつつ、まったく異なったことを考えていたりする。だが言葉の定義が不完全であることは、必ずしも日常言語の欠点とはいえない。むしろそうした不完全性によって、日常言語は作動しているようすらみえる。より厳密な定義を共有すればつねにより有効な議論ができるかという、一概にそうも言えないのである。言葉は基本的に、ある現実を明らかにすると同時に、別な現実を覆い隠すという二面性を持っている。リアリティの開示と隠蔽という、言葉の持つこの真逆の作用

は、互いに切り離すことができないのである。

さまざまな言葉が入り乱れている今のような状況を生きるには、言葉をその合理的な内容という観点から考えるだけでは、混乱するだけだろう。言葉の背後にある感情の流れを観察することも重要であると思われる。言葉の論理的な側面だけでなく、その感情的な側面からも考える必要がある。言葉自体は合理的思考の道具だが、言葉を発生させるのは感情だからである。言い換えれば、言われたことが正しいかどうかではなく、それがなぜ言われたのか、どのように言われているのかを、落ちついて観察してみるということだ。実は私たちはふだんから、言葉を感情的にも感受しているのである。けれども、言葉の感情的な側面は背景として作用しているので、明確な意識に上ることは少ない。しかし、感情の働きは決定的である。「表現の自由」や「テロとの闘い」のような言葉は、それを言わしめている感情の姿を明らかにしないかぎり、その本当の意味を考えることはできないと思う。

大きな災害や虐殺事件などの後には、大きな怒りの感情が社会の中に放出され、それが他人への攻撃という形で伝達され、拡散されてゆく。感情は本来、固定された対象を持たない。それが何に対する怒りであり誰に対する攻撃であるかという以前に、まず怒りと攻



吉岡洋（よしおか・ひろし）

京都大学教授（美学・芸術学）、
PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭
2015 プロフェッショナルアドバイザー
リーボードメンバー。批評誌『Diatxt.』
（京都芸術センター、2000-03）編集長、
京都ビエンナーレ 2003、岐阜おおがきビ
エンナーレ 2006 総合ディレクターを務める。世界
メディア芸術コンベンション（ICOMAG）2011-13 座長。

撃のエネルギーが伝わってゆき、それが様々な関係性の中で適当な対象を見出してゆくのである。そういう風景が、今も見える。このことは、子供か大人かということにも、素人が専門家かということにも無関係である。いい歳をした大人の専門家が、この世界をより良くするためにではなく、たんに自説を肯定し自分の支持者を増やすために「正しい」ことを言う競争をしている。人は自分の頭で考え発話しているように思っている、本当は大きな感情のうねりに流され、そのなすがままにしゃべっているだけなのだ、とも言える。けれどもそれでは、どこにも「自由」がないことになる。「表現の自由」以前に、思考の自由がない。思考の自由とは、いったい何だろうか？それは、大きな怒りや感情のインパクトを受けた時、それを反射的に外の対象に向けるかわりに、むしろ自分自身の内部に向け、思考の中に精妙な反射のパターンを生み出し、言葉をもっと生き活きと働かせるためのエネルギーとして使う、という技術にあるのではないか。自由な技術の開発——このことは、命をかけて追求するに値する課題であると思う。言葉を背後で動かしている感情の流れに対して、このような自由な技術を行使することを、本質的な意味での「アート」と呼んでよいのではないかと、ぼくは考えている。

会期前！

PARASOPHIAツアー2015

2015年1月12日の月曜日。この日は『日展』の会場となっていた、京都市美術館に集合したパラ人たち。およそ2ヶ月後にはPARASOPHIAの会場となるここから出発し、会場予定地とその周辺のカフェなどを巡り誰よりも早く「PARASOPHIA会場とその周辺」京都を満喫させてもらおう。そして、このツアーで話された会話の一部をピックアップして、「パラ人no. 001」から延々と続く話にオチをつけたい。歩きながら話したり、話しながら食べたり。場所について話すのではなくて、場所に話させられるままに、話してみる。これは「会話を続けるための会話」の記録。

団地の時代

山羊 | 京都市美術館から堀川団地まで歩きとバスで来ましたが、結構遠いですね。

吉岡 | 歩くとだいぶかかるね。ぼくはこのカフェ「レ・フレール・ムトウ」から参加ですが、すてきなお店ですね。実は胃腸風邪で2日間食べられなかったのが、今はじめてパン食べてます。形のあるものは美味しいなー。

山羊 | 2日間水だけですか？

吉岡 | ボカリスエットと生姜湯で生きてた。堀川団地は見てどうやった？

山羊 | シャッター街でしたね、会場になるところも全然ギャラリーっぽくないし。でも何軒か、おしゃれなチョコレート屋さんとかカフェとかあって、頑張ってる感じがしました。

朴 | 八百屋さんとかも、すごく若い人が結構元気にやってます。安くて良い野菜を奈良から持ってくるらしいです。奈良の朝の市場が終わったら、そこで残る新鮮なものを安く引き取って売ってるらしい。堀川団地での商店をリプロデュースしてる店も増えてますね。堀川通は昔はすごく賑わっていたそうです。当時、最先端の技術が入ってきた場所で、前にはチンチン電車も走ってて、その頃は堀川団地に住んでいること自体がおしゃれだったらしいです。

山羊 | 堀川団地って築何年くらいなんですか。

朴 | 60年くらい。

吉岡 | 建ったのは1950年代やね。元々戦前にこの辺は繁華街だった

んだけど、戦争のときに建物疎開させられて一時寂れて、1950年代に当時最先端の住宅をつくった。それが今老朽化を迎えている。

朴 | ここが多分日本で最初の団地で、ここをモデルにして日本中に団地をつくったらしいんです。

山羊 | なんで朴さんそんなに詳しいんですか？

朴 | 堀川団地でプロジェクトやってたんですよ。京都の若手作家12人と「CITY IN MEMORY - 記憶の街 -」という。そのとき、6ヶ月ほど団地の方々にお世話になりました。

山羊 | 「団地」っていうから、もっと棟がたくさんブロックに並んでいるイメージがあったけど……。

吉岡 | その団地のイメージはもうちょっと後の、1970年頃の「ニュータウン」やね。都市郊外に計画的につくられるベッドタウン。ところでこの中で、団地で育った人は誰ですか？

成田 | 一応育ちました。ニュータウンのうちのひとつというか、東京の新宿というか、高田馬場なんですけど。

山羊 | 私は団地ではないんですけど、団地が含まれている学校区内だったので、団地住まいの友達が多くてよく遊びに行ったりしてましたね。

高橋 | うちの千里ニュータウンのふもとのマンション街でした。世代がひとつ次というか、千里ニュータウンよりも後に開発されたところで、今もまだ開発中ですね。周りがほとんど通勤族みたいなおとこでした。

山羊 | 堀川団地の部屋ってお風呂ついてるんですか？

朴 | ついてないです。だから近くの長者湯っていう、薪でお湯沸かしてる銭湯にみんな通ってました。すごいいいですよ。

成田 | トイレは共同？



おばんざいプレート 700円
酵素ごはん&無添加おみそ汁の
おかずもりもりセット！

朴 | トイレは部屋についてます。お風呂だけない。

吉岡 | ぼくは伏見区の長屋で育ちましたが、お風呂はずっと銭湯でした。京都は下水道や内風呂の普及が遅かった。だから銭湯がたくさんある。今はいいと思うけど、子供の頃は家にお風呂のある友達はやましかったな。団地の子もうらやましかった。なんか新しくて清潔で、「**文化的**」な感じがして(笑)。そういえば「文化住宅」という言葉もあったな。

高橋 | 「文化」住宅……。

吉岡 | 団地じゃなくて小さなアパートで、いったい何が「文化」なのか、今から考えるとよく分かるんだけど、たぶんそれまで安い集合住宅は台所とかトイレが共同だったのが各個についているというところらしい。食べることで排泄とが共同じゃなく、自分だけでできるというのが「文化」。そういえば「文化包丁」という言葉もあるな。

高橋 | 包丁の場合何が「文化」なんですか？

吉岡 | つまり万能包丁ということかな。一本で魚でも野菜でも全部処理できる。文化住宅の「文化」もそういうイメージで、小さくても機能的で便利。

山羊 | 「文化」鍋も？

吉岡 | そんなのよく知ってるね(笑)。アルミ製で軽くて扱いやすい。新しくて便利なもんは何でも「文化」と言われた。

そろそろ回覧板回そうか？

山羊 | ところで私、今アパートに住んでるんですけど、一昨日2つ隣のおばちゃんに「そろそろ回覧板回そうか？」って言われて。今までは「学生さんだしね」ってスルーされてたみたいなんですけど「もう学生じゃないんでしょ、あなた？そろそろ町内会とか入る時期なんじゃない？」って言われて。

吉岡 | よかったね。一人前に認められたわけや。お地蔵さんの掃除とかせなあかんね。

山羊 | ようやく受け入れられたって気がして。これまで入るかどうかも聞かれたことなかったから「ついに回覧板がきた(笑)」みたいな。

吉岡 | 時代がちょうど一回転して今は地域のコミュニティを大事にしないきゃ、ということになってるけど、ぼくが子供のときは一番嫌だったな、町内会とか。その中に子供会とか青年部とかあって、スポーツ大会とかいろいろあるの。地蔵盆とかも、何でこんなことせなあかんのかと思ってた。

高橋 | 地蔵盆とか行ったことないです。私の人生に存在したことが

ない。何をするんですか、地蔵盆って。お祭りみたいな感じですか。

朴 | 小さなお祭り。

吉岡 | お地蔵さんの前にテント張って、舞台つくってのど自慢とか、落語とか、隠し芸大会したり、ゲームとか、福引きとか。子供にはおやつもくれる。取りに行かないと家まで届けてくれたり。

山羊 | それって大人がやるんですか。

吉岡 | その町内の大人が役割決めてみんなでやる。夜になったら近所のおっさんたちが出てきて、酒盛りもする。お地蔵さんがあるから、その前が集まる場所になる。

山羊 | 別に宗教に関係ないですよ。

吉岡 | 一応お地蔵さんだから仏教やけど。韓国って地蔵信仰ってある？

朴 | 昔はあったんですけど、今はだいぶなくなりました。韓国って文化的に断絶された時期が36年間あったので、そこでほとんどのものが消えてしまったと言っても過言ではないです。祭も、実際は地域ごとに色んなものがありましたけど、今は全部なくなって、どのような形だったかすらわかりません。お地蔵さんのものもちろんあって、韓国は昔から仏教が国の宗教だったんですけど、実際シャーマニズムがそれよりも根本にあるっていうか。そうだったので、村人がシャーマンを呼んで、踊ってもらって。それを見たりしたところもあるし、お地蔵さんの前で祭りのようなこともしたらしいんです。

高橋 | 「Ingress」ってゲームあるんですよ、Google がやってる陣取りゲームみたいな。それを最近始めたんですけど、お地蔵さんが全部チェックポイントなんで、それで初めて京都はたくさんお地蔵さんがあるんだと気付きましたね。地元に戻ると全然ないの。

山羊 | それはリアルな世界とリンクしてるの？ゲームが。

高橋 | そうです。Google Map とリンクされていて、プレイヤーは青のチームと緑のチームに世界中で分かれてるんですよ。

野海 | 何をやるゲームなの？

高橋 | 世界中のあらゆる宗教施設とか、駅とか、そういうモニュメンタルな場所を、「ポータル」というチェックポイントにするんですよ。で、プレイヤーはそこに行行って色々したら、自分のチーム拠点にできるんです。その点と点同士を繋いで、できた三角形の内側の人口密度の合計値で戦うゲームです。本当に世界中でやってて。中央アジアとか過疎なので、超巨大な三角とかできるんですよ。一回、日本でも、遼東半島と襟裳岬とグアムを繋いだ人がいて、日本列島が全部緑の陣地になったことがあって。それですごいネット上で話題になりました。

野海 | 私は、全然お地蔵さんがいないところに住んでたんです。いや、あったのかもしれないけど、馴染みがなくて。**お地蔵さんに対してどういう態度を取るのが正しいのかわからない**。なんか一個も思い浮かばないんですよ、お地蔵さんが。

no. 4

『ミッドナイト・イン・パリ』

0時の街を散歩するとタイムマシンが現れる。1920年代のパリを愛している2010年の男。1990年代ベル・エポック（良き時代）のパリに憧れる1920年代の女。そして、ルネサンス期こそが黄金時代であったと思う19世紀末のゴージャン。この3人が真夜中のレストランで出くわした。0時ではないけど、今回午後の京都を散歩してきたバラ人たちに見せたかったウディ・アレンの映画『ミッドナイト・イン・パリ』を紹介する。



尹志慧（ゆん・じへ）

同志社大学大学院（美学芸術学）在学中。バラ人及び、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015の学生スタッフ。

2020wonderkiddy@gmail.com



『ミッドナイト・イン・パリ』

監督：ウディ・アレン

2011 年公開

midnightinparis.jp

ハリウッドの売れっ子脚本家のギルは、婚約者イネスの父親の出張旅行に便乗し、心から愛してやまないパリにやってきた。本格的な小説家になりたがっている彼は、ノスタルジー・ジョップで働く男を主人公にする作品を執筆中だ。ほろ酔い気分で真夜中のパリをふらついているギルの前に0時の鐘とともに現れてきたのは、今どき街なかでは見かけない旧式のブジョー。車が彼を乗せて着いた先は、作家ジャン・コクトーが主催するパーティー。ギルは1920年代のパリにタイムスリップしていたのだ！驚くギルの前に、敬愛するヘミングウェイから画家サルバドール・ダリまで、20年代のパリに住んでいる憧れのアーティストが次々へと現れる。そして、そこで知り合った、服飾を学んでいるアドリアナ。ギルとアドリアナが真夜中のパリを散歩すると、映画は彼らを、突然現れた馬車に乗せてゴージャンのいる19世紀末のレストランに連れて行く。

21世紀の男と、20世紀の女、19世紀末のゴージャンが口を揃えているのは、「現在ってつまらない」とのことだ。この映画は、過去のあの時代こそが真の黄金時代であったと信じるこの3人への、監督ウディ・アレンからのアドバイスだ。そのアドバイスは、端的な一つの文章に要約することもできる。それは、映画の中のギルの台詞、「現在って少しつまらないんだ」だ。当たり前すぎて反論の余地の無いアドバイスである。しかし、ウディ・アレンが用意したこの単純なメッセージの見せ方は、車と馬車に乗ってパリの黄金時代へタイムスリップするSFという、楽しい設定の中で繰り広げられる。1960年代から現在まで、毎年作品を発表している彼の映画は、痛いほど幻想から離れている。この点で、ブジョーと馬車がタイムマシンであるという設定自体からラブリーな『ミッドナイト・イン・パリ』は、監督のフィルモグラフィの中では、意外な作品である。苦い後味を残す以前の作品に比べ、本作品はかなりの温かみと甘さを帯びている。その温かみの正体は、おそらく真夜中のパリの街を照らすオレンジ色の常夜灯であろう。そして、その甘さは主人公のギルとウディ・アレン監督が愛してやまない映画の中に登場する芸術家たちのキュートさの故である。スコット&ゼルダ・フィッツジェラルドカップル、ヘミングウェイ、ピカソ、サルバドール・ダリ、ルイス・ブニエール、マン・レイ、ロートレック、ゴージャン、ドガといった芸術家たちが愉快な態

度でギルと付き合ってくれる。昼と夜の、これらの芸術家たちが住んでいる映画の中パリは、すぐにでも散歩に出かけたくなるほど、ロマンチック極まりないだ。しかしながら、もしこの映画から苦味を感じたなら、それはストーリーや登場人物のキャラクターの故ではない。それは、ギル曰くの「現在って少し不満なもの」というこの世界自体の苦さであって、ギルとは違って、私たちはブジョーの中の人々に誘われ20年代のパリに遊びに行くことはできないという叶えようのない夢の故である。

最近、ラジオで『ニッポン戦後サブカルチャー史』を書いた宮沢章夫さんの話を聞いたり、寺山修司監督の『書を捨てよ町へ出よう』を見たりしている間に、長らく抱いた不満を再び振り起こされてしまっていた。自分はなぜあの時代に、ゴダールの60年代に、バンクロックの時代に生まれなかったんだらうというやせせない気持ちの不満。憧れの時代のその現場に私もいたかった。『書を捨てよ町へ出よう』の時代に焼き餅を焼いている自分への慰めの言葉を先輩からもらった。「寺山修司という人間がすごいのであって、時代がすごいのではない」という……。60年代ヌーヴェルヴァーグの人だと思っていたゴダール監督の新作映画『さらば、愛の言葉よ』が今月日本で公開されるというニュースをみて、自分はゴダール監督自体に憧れていたのではなく、勝手に黄金時代だと思い込んでいた過去の中に現在のゴダール監督を閉じ込めていたことに気づいた。生まれるのが遅かったという自分の不満は、2012年、『ミッドナイト・イン・パリ』を見て解消されたことがあったのだが、3年間それを忘れていたに違いなかった。

ギルとウディ・アレンにパリがあれば、私たちには現実の、そして、パリと同じく若干はファンタジーの上にたてられている京都がある。京都とパリは姉妹都市でもあるからか、この2つの都市の昼と夜の両方の町並みは魅力的である（ちなみに京都とパリは1958年に、東京とパリは1982年に姉妹都市となった）。ギルのようにほろ酔い気分で、夜の京都の街を散歩する『ミッドナイト・イン・キョウト』がつくられることを願う。今回の「会期前！PARASOPHIAツアー2015」は少し寒い時期であったが、バラソフィア会期中（3月7日-5月10日）の京都はふたつのはうってつけの場所だ。2045年版や2100年版の『ミッドナイト・イン・キョウト』に、今回午後の京都を散歩した表紙の2人をこっそりと友情出演してもらとうと嬉しい。

「あ、接近してくるぞ」(高橋)

小学生の匂い？

吉岡 | この京都芸術センターはね、最初名前を「明倫アートセンター」にするという案もあった。元・明倫小学校だから。でもそれでは京都以外の人には分らないというので「京都芸術センター」になりました。ぼくは1999年にここを立ち上げる準備委員会から関わっていて、自分の出た小学校じゃないけど、というより自分が出た小学校じゃないからこそ、愛着がありますね。学校不適応児だったので、自分の出た小学校にはあまり良い思い出がない。もうひとつは、いま京都国際マンガミュージアムになっている元・龍池小学校ですね。そこで1999年に、「SKIN DIVE」という展覧会を企画した。

山羊 | 人から聞いた話ですけど、京都の街中の学校って上の人が設計してつくるっていうよりも街の人が設計段階から関わって、こういう建築にしたほうがいいんじゃないかってやってるから、街の人たちが愛着を持ってるって聞きました。

吉岡 | この元・明倫小学校も、市立だから京都市がお金出して建てようとしたのだけど、地元の人たちからもたくさん寄付が集まって、それで結構凝った贅沢なデザインになったということです。

朴 | 僕が通っていた小学校は、日本に植民地支配されていたときにつくられた建物で、だから日本の小学校を見るとすごく馴染みがあります。廊下とかも同じなんですよ。自分が卒業するときまで国民学校だったのですが、その後、日本の残備といって名前も変わりました。初等学校と。こういう建物に来るとすごく気持ち良いですね。

山羊 | 吉岡さん、前にどこかで、小学校って今は使われてなくても子どもの匂いがするって言ってませんでしたっけ？

吉岡 | するよ。

山羊 | しますか？ここも？子どもの匂い。

吉岡 | うん。小学生の匂い、幼児の匂いとはまた違う。

高橋 | 小学生って匂いするんですか。

吉岡 | する。小学生の匂い、分かるやろ。

高橋 | 分からないですよ。鉛筆とかの匂いなら分かるけど。

吉岡 | 違うよ、体臭だよ。

浅見 | 赤ちゃんの匂いとかだったら分かるけど。

吉岡 | 赤ちゃんみたいな良い匂いではない。

高橋 | 小学生の体臭って考えたこともないです。

朴 | 小学生の自分がどんな匂いを持ってたか考えると怖い。

高橋 | 中学生と小学生の匂いって違いますか。

吉岡 | 全然違う。

朴 | たとえば？

吉岡 | 小学生の匂いはどっちかという動物の匂いだよね。

高橋 | 何でしたっけ。先生がツイッターに書いてた、蹴上のことを「からあげ」って読んだ小学生の話を思い出しました。

吉岡 | あれね。地下鉄東西線に乗ってたら、横に小学校3年生くらいの子が数人いて、近くの子たちじゃなくして駅名の「蹴上」っていう漢字が読めへんのね。でもそのうちのひとりがローマ字はちょっと読めて、KEAGEって書いてあるのを「ちょっと待て。えーと、カ…ラアゲ」って読んで（笑）、まわりから「うそつけー」と言われていた。

浅見 | めっちゃかわいい。

吉岡 | で、前に立っているぼくに座ってた2人が「どうぞ、どうぞ！」って。あーもう子供に席を譲られる歳になったかあって思って「ありがとう」って言って座ったら、向かい側に立ってたまだ20代らしいOL風の娘にもその人にも「どうぞ、どうぞ！」って（笑）。ああ、こいつらにとっては大人は全部一緒なんやなと思った。さすがにその女性は座るのを固辞してたけどね。

朴 | ずっと小学生の匂いを想像してみてたんですけど、新鮮な感じの匂いですか。

吉岡 | あのね、小学生ってのはまだ自分の身体をちゃんと社会的に管理できてない。だからその点が動物と一緒に、内側から放射するだけで、いろんなものに触ったりするし、特に男の子はお風呂とか入っても洗い方がいい加減でしょ。

山羊 | うんうん、めっちゃ適当ですよ。

吉岡 | そうというのが蓄積してできるんだよね。

成田 | 想像していたよりあんまり良い匂いじゃなさそう……。

吉岡 | 全然良い匂いじゃないです。どっちかっていうと臭い。

浅見 | 聞いたら臍に落ちるけど、嗅ぎ分ける自信はないなあ。

高橋 | 先生は見るよりも先に匂いで小学生を感じますか。[「あ、接近してくるぞ」](#)って。

吉岡 | うん、電車の席で居眠りしてるようなとき、前に立たれると分かる。子どものときから嗅覚がなぜかわりと敏感なんです。こっちの方が動物的なのもかもしれんけど。ぼくは実は相貌失認で、人の顔が覚えられないので、身体がそれを補っているのかなとも思う。

匂いの話はなおも続く

吉岡 | 意識するとだんだん敏感になってくるけど、怒ってる人とか独特の匂いするよ。新幹線の隣の席に座ってる人が怒ると、全然落ち着かへん。





あの、先生が学校に適應できなかった原因を聞いてもいいですか？(高橋)

山羊 | 落ち着かないのはわかりますけど、匂いしますか。

吉岡 | 厳密な意味では匂いではないのかもしれないけど、何か独特の、空気を伝わってくる感覚がある。

山羊 | ああそれはわかります。なんかイライラしてる、みたいなの。

吉岡 | 別にしゃべったり何か動作とかしなくてもね。黙ってじっとしてても、この人もすごい機嫌悪いな、っていうのは伝わってくる。そうすると東京までの2時間が本当にしんどくて、こんなの気のせいかなどと思うんだけど、降るとスツとなくなるから、やっぱりあの人だったんだって。

山羊 | 逆に何も話してなくてもこの人楽しそうやなあ、ってわかることは？

吉岡 | それは……見たら分かるやん(笑)。

山羊 | そっか。

吉岡 | あと、別な街とか外国に行ったとき、その場所独特の匂いは、すごく記憶に残りますね。京都の中でも、北と南、東と西は違う匂いがある。東京でも山手線が停車してドアが開く度に、違う匂いがしますね。新橋とか眠つぶって耳ふさいでもわかる。

高橋 | 焼き鳥の匂いですか。

吉岡 | まあそう(笑)。

成田 | 大阪でも、鶴橋の駅で電車が止まったときに、ふあってそこだけ焼肉の匂いがして。

吉岡 | 70年代にソウルに行ったときの匂いも記憶している。最近は、行ってもあんまり街の匂いがなくなったなって思います。ないことはないけど、薄くなった。日本はずっといるから感じないけど、たぶん20年前、30年前に比べたら、いたる所が無臭に近づいてるような気がします。この2、30年の間に、匂いを排除してきた。体臭とか嫌われるようになったし、「加齢臭」とか言われたりして。人の身体の匂いはもちろん昔もあったし昔の方が強かったと思うんだけど、今ほど忌み嫌われてはいなかった。ひとつには、生活空間に今ほど気密性がなかったから、風が通るのであんまり気にならなかったというのと、もうひとつは、他にもいろんな強い匂いがあったからだと思うんだよね。今でも、インドとか東南アジアとか行ったらあんまり体臭とか気にならないのは、他にも強い匂いがあるからだよね。

山羊 | 今は商品のほうから「お口のエチケット」とか言われて気にしないといけないのかなっていう、外からの圧力が大きいですよ。体臭だけでなく、**作品も匂います**よね。吉岡さんが編集長している『有毒女子通信』の中で、松尾恵さんが「油絵の匂いが苦手」って言ってましたね。日本画だとまた違うし。

吉岡 | 油画の新作展は、すごい匂いするからね。でも、あれが好きっていう人もいますよね。

高橋 | 美術館の匂いってありますからね。別に匂わないものを展示し

ているはずなのに、何か匂うという。

朴 | おもしろかった展示があって、シャネルの「No.05」のフォントもつくったシュタイデルという出版社の展示で、今まで出版した歴史とかが展示されましたけど。その出版社である香水をつくってて、それはすぐ出版された活字の匂いらしいんです。それが西洋の人には良い印象に残ってるからそれを香水としてつくったらしいです。本当に良い匂いで落ち着くし、本が読みたくなります。

吉岡 | もちろん本も匂いするよね。新しい本は特に、インクとか紙の匂い。

山羊 | しますします。古本屋とはまた違いますよね。

浅見 | 雑誌の匂いと、本の匂いとも違いますね。

高橋 | 子どものとき古本の匂いが辛くて、図書館でも古い本があるところとか苦手でした。

朴 | 図書館とか行くとトイレ行きたくなったりするじゃないですか。それは古い本から出る匂いのせいです。脳の作用で、科学的に証明されてるんです。**便意を催させるらしいです。**

吉岡 | 膀胱とか、内蔵を活性化してくれてるんじゃない。身体に良いってことだよな。前に寄生虫学者の藤田紘一郎さんと話したとき、彼がたまたま本屋で会った女の人に「先生お久しぶりです」って挨拶されるんだけど、「私、先生に会うとトイレに行きたくなるんです」って言われるんだって。藤田さんによると、「それはぼくのことが好きなんだよ」って。好きな人に会うとトイレに行きたくなる。勝手な解釈のようにも思えるけど、内臓が活性化されるというのはあるかもしれない。

サトウキビに刺さりたくない

高橋 | でも小学校って、6歳児と12歳児みたいに、明らかに違う生き物が同じ建物にいるってすごいですね。**あの、先生が学校に適應できなかった原因を聞いてもいいですか？**

吉岡 | 人間関係とか、給食とか、いろいろあるけど水泳もそうですね。水泳の時間に強制的に泳がされるのがすごい嫌いで。でも親が泳げないのは良くないと言って、夏休みに妹と一緒に「踏水会」っていう水泳の塾みたいなどこに行かされたののだけど、それが学校の体育の時間より厳しいのね。これもイヤで行きたくなかった。そしたら、左の上腕のところに紫のあざができて、それがどんどん大きくなって、最初は恐怖マンガとかに出てくる**「人面瘡」**ができるのかと思っ



た（笑）。それで皮膚科のお医者さんに連れて行かれたら、炎症起しているんで水泳はだめですよと言われたので、ああよかったーと。

山羊 | すごいですね。原因は何ですか？

吉岡 | わからん。イヤだイヤだと思ひすぎてなったとしか思えん。

浅見 | ちょっといい話ですね。

吉岡 | でも最初、これで自分は死ぬのかなとも思ったよ。

高橋 | 小学校の頃って、ちょっと普段起きないことがあったら死ぬんじゃないかと思ひますね。

吉岡 | 思う、思う。指に棘が刺さって取れなかったとき、棘が段々血管を通して最後に心臓に突き刺さって死ぬと思ひてたり。

山羊 | あー！思ひてた、怖かった。

吉岡 | 子供は、やっぱり死に近いからではない？まだ生まれてすぐだから。昔は、子供のときに死ぬということは実際にも多かつたし。

朴 | 人々が「怖い」と考えてる全てのことは子供のときの記憶と関係するそうです。今覚えていないとしても、知らないうちに経験したものがそのベースにあるらしいです。つまり子供のときに経験した「死」と一番近い形のもものが恐怖感として認知されるということです。大人になっても気をつけるべきのものとして。例えば、海で事故があったり、鋭い何かに刺されたり、もしくは刺されることを目撃したりした経験がトラウマになって、水恐怖症なり先端恐怖症になるんですね。

吉岡 | たとえば子供のときに感じてた「暗闇」が怖いという感覚は、もちろん大人になっても何となく暗闇は気持ち悪いと誰でも思うときがあるけど、子供の感覚というのは本当に直接的で、ゾワッと何かが上がってくる。恐怖がそのまま身体的な感覚としてある。

朴 | 大人になってからの暗闇は、そこから何かが出て来るかも知れないという学習による不安に近いと思ひますけど、子供のときは「暗い」という感覚自体に反応するんですね。

浅見 | それ、わかります。僕、小学生の頃に自分が乗ってる車が軽い事故にあったことがあったんですね。誰も怪我はなかったんですけど、やっぱり今でも車がちょっとこわい。ペーパードライバーの言い訳かもしれないですけど。でも本当に、自分はほとんど車に乗らないのに、定期的に自分が運転してて事故する夢を結構な割合でみるんですね。

朴 | 僕も近い経験があります。おじいさんの家がちょっとした田舎で会社とかでよく研修に行く場所のとなりなので空き地とか多かつたんです。そこで運転の練習とかもする人がいたりしたんですけど。僕が小学校3年のときに、父が運転教えてやるといって父のひざに僕を座らして運転させたんですね。でもまだ小さくて座ったら遠くの前は見えるんですが、すぐ下が見えなかったんです。そのときいきなり「ブレーキー！！」と父が叫んでびっくりしてブレーキを踏んで外に出て見たらすぐ前がかなり高い絶壁でした。そのあとから運転席に座ると背中から汗がすごく出ます。

吉岡 | 今も運転できないの？

朴 | 今もできません。もちろん免許もなくて、このままでは彼女とドライブもできないと思ひたら悲しくて、取ろうとしましたが、やっぱり運転席に座ったときからもう無理でした。

吉岡 | ぼくの知ってる沖縄の人で、免許取ろうと思ひて自動車学校に行ったら、実技は何の問題もなかったのだけど、安全運転の教習で事故の写真とか見せるやん。それ見て怖くなって教習止めたという人がいる。

高橋 | 沖縄はさとうきび畑多いじゃないですか。車の事故で、さとうきびに刺さって死ぬことがあるらしくて、沖縄の教習所ではそれについて注意されるらしいです。

吉岡 | さとうきびの茎で身体を貫かれるの？それは怖いな。

高橋 | 事故はたいした怪我じゃなくても、畑に投げ出されて刺さったり。だから気をつけなさいと言われた瞬間、絶対もう沖縄では運転したくないと思ひたそうですよ。

たまたま行く喫茶店と、目指して行くカフェ

山羊 | 吉岡さんってひとりでカフェでボーッとするとかあるんですか。

吉岡 | ない。あるの？ひとりで。

山羊 | よくありますね。めっちゃ好きですよ。

朴 | 同志社別科という同志社大学の日本語学校みたいなのがありますけど、その先生がすごく喫茶店好きで、授業の3分の2くらいが新しく発見した京都の喫茶店の話なんです。喫茶店とカフェの違いを語ったりしたんです。その先生が最初の授業で教えてくれた喫茶店がこの芸術センターの中の前田珈琲でした。喫茶店はちゃんとした定食みたいな食事が食べれないとダメ、カレーがないとダメとか言っていました。その後で「ここはとても良い喫茶店だからいってみて」と教えてくれたところがあるんですけど、行ってみたら食べ物とかなくて、「先生そこって食べ物なかったんですけど」と言ったら、「いや、その雰囲気が喫茶店だよ」と。この先生、適当だと思ひました（笑）。

山羊 | 雰囲気が喫茶店。

朴 | 喫茶店とカフェの違いって何でしょうね。

山羊 | 東京に行くところでもドトール、スタバ、エクセルシオールばかりで。京都の方がまだ今日行ったような個人経営のカフェが残っている感じが、すごく楽しいんですね。

大久保美紀（おおくぼ・みき）

パリ第8大学非常勤講師。美学、同大学大学院芸術学科
博士後期課程、ニューメディア美術専修。批評のウェブ
サイト "salon de mimi" に展評・作家評・エッセイ
を多数掲載。日本の現代アートやファッションにお
ける身体意識・身体的表象をテーマに研究している。
芸術と自己表象、人形論、モビリティ概念など。

no. 4

「いま、ここ」のためのアート



mrexhibition.net/wp_mimi

アートの世界は、昨日や今日、世界の表面に噴出してしまった深刻な亀裂や、何世紀も前から現在まで少しずつ積み重ねられてきたフラジイルな積み木の先端がユラユラしている状況を、見て見ぬ振りをすることは出来ないのである。このリアルな世界にコミットしないのであれば、それはアートの関心事ではない。表現とは、ある個人が別の個人の領域に踏み込み、あるいは踏み込まれ、その領域を共に治めて共に生きることによって、その意味を担い、創る人を励まし、観る人を感じ入らせることのできる存在である。念のため断っておくならば、ここでも「リアルな世界にコミットする」というのは、必ずしも、当面の政治・経済・社会問題について真っ向から言及し、宗教・民族間争を主題とし、現代的な精神の病や大衆の悩みに焦点をあてることのみを意味しない。そこには多様な語り方と向き合い方があり、規模やエネルギーの違いがあり、具象的な方法や抽象的な方法があり、直接的な言及から演繹的な言及まで、表現者の思想に基づく選択肢は尊重される。とにかく、ある日ある出来事が勃発し、「世界が変わってしまった」という言説が飛び交うとき、あるいは、激しい震撼が我々の身体を襲うとき、アートがこれに敏感に対応するのは当然のことである。👉

15

【2015年1月7日のこと】

日本でも大きく報道されたので、ご存知のことと思う。
2015年1月7日、ラディカルな反体制左派を固持する風刺週刊誌「Charlie Hebdo」の編集者本部（バスチーユ界隈、パリ）が襲撃され、著名な漫画家と編集長を含む十二名が命を落とした。その翌々日にはパリ東部、ヴァンセンヌにおいてユダヤ系食品店の襲撃があり、買い物客らが銃殺された。この非常事態に際し、事件の夜以降、連帯を呼びかける人々が集結していたレヴィブリック広場では、1月11日、120万人とも150万人とも言われる人々が行進した。首都のエナジーはフランス全土に轟き、この日、フランス各都市で行進に参加した人数の合計は370万人とも言われている。この数字が歴史的なフランス全土の震えを物語っていることは言うまでもない。「Je suis Charlie」のフレーズを掲げる行進参加者は、「反テロ」と「表現の自由」を合い言葉に連帯を強めたが、やがて、この問題は、一部の人々が歴史と思想に極めてナイーブであることを露にするかたちで、あたかも、問題の本質が表現の自由の抑圧であることを露にするかたちで、根幹が過激な宗教的派閥による世界市民への脅威であるかのように、極めて単純化して図式化されつつある。

この出来事その後の行方に関しては、あまりに日が浅いため、踏み込んだ分析や思想的言及は控えたい。この小文の後半では、リアルな世界から眼をそらさず非常事態と対峙しようとする芸術の可能性について、今だからこそ考えたい。世界を震撼させる出来事は、アートの世界にも変容を強いる。そしてアートの世界は、リアル世界に作用する。👈



《明日の神話》に福島第一原発の危機を象徴する黒い煙の絵をゲリラ設置する Chim↑Pom.



PARASOPHIA開幕まで残すところ僅かである。ノツシノツシと歩んできた「バラ人」もついにその真の姿を現す時が来たのかもしれない。新年早々前期最終講義となるフランスで、非常時における芸術と表現の自由を喋っている途中、パリの街は非常時と化した。翌日、街中が緊張する中、グラン・バシでニキ・ドゥ・サンファルの回顧展を見る。父子関係にトラウマを持つニキが父への恨みを込めてライフル銃で発砲しまくる「暴力的」な作品も堂々と展示されたままだ。これが本当のリテラシーでなければ何だろう。このことは可能なのだ。

【ポスト・フクシマのこと】

日本の現代アートシーンにおいて「世界が変わってしまった!」とロタに吹かれたのはまだ記憶に生しいことである。2011年3月11日の震災と津波、そして「フクシマ」の出来事は多くの人々を傷つけ、途方にくれさせ、あるいは、無理矢理自他を励ますことを強い、人生とは物質世界に留まることを許された非常に限られた時間のことを意味するのだということをもトラリアム時代の若者に気づかせた。十分に長い時間、様々なセクターを飲み込んだ「自虐」のムードはアートシーンにも及び、芸術はあたかも非常事態に無力な存在として貶められそうになった。

しかし、フクシマの問題に真っ向から取り組む日本人のアーティストの活動は、その適確な問題提起や繊細な観察において、海を越えて高い評価を受けてきた。90年代より核への問題意識を投げかけてきたヤノベケンジのモニュメンタルな巨大彫刻《サン・チャイルド》や、過激なバフォーマンスを繰り広げるChim↑Pomが渋谷駅構内の《明日の神話》(岡本太郎作)に福島原発事故を描き加えた事件が思い出される。その一方で、しばしば過度に内省的になりがちなポスト・フクシマの表現はある意味で打開すべき局面を迎えているとも言える。一つの明らかな突破口は、誰もがいわゆる「まど」を開け放しておくことだ。コミュニケーションのための、開かれた態度でいること。対話可能性は実は、自らを保護する體の役目を本質的に果たさな

ヴェネツィア・ビエンナーレに際して田中功起がキュレータの蔵谷美香と実現した「抽象的に話すことー不確かなものの共有とコレクティブ・アクト」(Abstract speaking – sharig uncertainty and collective acts, 2013)は、国際的に極めて高く評価された。抽象的な方法で人々の「協働」の可能性を明るみに出すというアーティストの試みは、なるほど、災害の生じさからは遠く温度差を感じるものの、人々が互いに関係し合って世界を生きたるためのアイデアを提示する意味があった。

また、水戸芸術館における展覧会「高嶺格のクールジャパン」(2012ー2013)の中で発表された作品《ジャパン・シンдрーム》は、関西編、山口編、水戸編という地域別の住人インタビューをもと制作された映像作品とバフォーマンス作品から成るシリーズであり、昨年の「step3. "地球の外側"」により完結した。現地住人のありのままの言葉は平凡な彼らの日常であるゆえに、翻ってその非常事態を浮き彫りにし、報道を聴くのとも部外者として被災地に赴くのと全く違う方法で、人々に鋭く問題を意識させた。

アートの世界は、非常事態に弱々しい何かではない。途方に暮れないよう、絶望しないよう、人々が関係するアイディアをもちあわす。あるいは、無理矢理励ますのをやめ、すっかり諦めたうえで、それでも対話に感じ続けるメソッドとなってくれる。「いま、ここ」に、アートはあったほうがいい。



たぶんそのおしゃれではないけど、
おしゃれはおしゃれだと思います。(朴)

吉岡 | 東京もいっぱいあったんだよ。今どんどんつぶれていってるから。

山羊 | そうですね、きっと。

吉岡 | 東京でいま思い出したのは、青山にある「大坊コーヒー」。

山羊 | 「大坊コーヒー」！知ってる、知ってます。2 階に上がるとこ
でしょう？

吉岡 | そうそう。深煎りのコーヒーが甘みがあって信じられないくら
い美味い。

山羊 | 信じられないくらい！

成田 | そんなに美味しいんですか。

山羊 | 本当に！ビックリするほど。

吉岡 | 一杯 700 円くらいしたけど。スパイラルで展覧会があって、
そこで会ったオーストリア人のアーティストとたまたま入った。一
口飲んでびっくりして、ウィーンでもこんな美味しいコーヒーない
と彼も言って、おかわりした。2 回目に行ったとき、そこのご主人と
しゃべってたら、やっぱり喫茶店の経営は難しくなったと。利用の
仕方が変わってきた。昔は、小説家とか原稿書いて編集者に渡すとき、
喫茶店で待ち合わせしたんだよね。今は全部メール添付でしょ。

朴 | そうですね。

高橋 | あ！（iPhone で確認……）閉まってる。そのお店、閉店になっ
てますよ。

吉岡 | 残念。そうだったのか。

浅見 | すごく飲みたかった……。

吉岡 | 京都って小学校が最初にできた所で、古い小学校が今も残って
使われているけど、昔の喫茶店文化もまだ少し残ってますね。イノ
ダコーヒーってあるでしょ。始めからミルクと砂糖入れてある。何
であんなことするかというと、日本人がまだコーヒーっていうもの
に慣れてなかったときの名残りなんですね。

高橋 | 百万遍の進々堂も最初から入ってますよね、砂糖とミルク。一
応、訊かれますけどね。「入ってますけどいいですか」って。

山羊 | 京都に観光に来る人って、お寺っていうよりもカフェ巡りした
いっていう人も少なくないような気がします。

浅見 | 京都ってわりとカフェブームってありましたもんね。

山羊 | えっ世間的にはカフェブームはもう終わってるの？

浅見 | いや、終わってははいんでしょうけど、一時期もっと盛り上
がっていたイメージがあります。

朴 | カフェブームって「カフェに行こう」というブームですか。「カ
フェを開こう」ってブームですか。

浅見 | なんとなく「喫茶店」から「カフェ」へ移行するみたいなこと
だったんですかね。

高橋 | 「カフェ」はわざわざ行く、みたいな感じですよ。そこにあっ
たから入ったんじゃないくて。

吉岡 | そうか。「カフェ」とはわざわざ目指して行く所で、「喫茶店」

は「お茶でも飲もうか」ってなってたまま行くところ。

浅見 | 古い喫茶店って、椅子もテーブルもちょっと低いイメージあ
ります。ちょっとご飯も食べにくいし、勉強もしにくい。そういう
ところもグッとくるんですが。

吉岡 | 応接間のテーブルでご飯食べるみたいな感じやね。

浅見 | それで言うと、僕は「ジュネス」が好きで。

山羊 | ハンバーグおいしいですよ。

高橋 | え、どこですかそれ。

吉岡 | 北白川別当町。御影通と白河通りの南東角です。

山羊 | 左京区のほうがおしゃれカフェ、喫茶店が多い気がしますね。

朴 | 千本通にめっちゃ良いカフェありますよ。「はちはち Infinity
cafe」っていうところなんですけど、すごいですよ。

山羊 | どうすごいですか。

朴 | とりあえず一週間に一回開いているかどうか分からない。

山羊 | それって、ほとんど休みやん。

吉岡 | 名前からしてなんとなくそんな感じやん（笑）。

朴 | でも開いてたらそのラッキー感がすごい。で、パンもいろいろ
あるんですよ。見た目はあんまり良くないんですけど、味が良い。

吉岡 | すごいかもしれないけど、おしゃれかどうかは分からないよね。

朴 | たぶんそのおしゃれではないけど、おしゃれはおしゃれだと思
います。

話を続けるために話をする

吉岡 | 『バラ人』、これで 4 号出したことになるけど、まあ一言でい
うと「座談会」というのを延々と続けてきました。「座談会」と一応
は呼んでるけど、本当は座談会というより「終わらないおしゃべり」
のようなものかもしれない。

朴 | 場が会話を求めている、我々が何かをするのも会話をするた
めではないかと。映画を見たりするの。

山羊 | つまり話したいから、ということですか？

朴 | それがもとにあるんじゃないですか。

山羊 | なるほどー、今ジーンと来たわ、そうね。染みちゃった、今。
最近、人と喋るのに疲れている時期だからあんまり喋ってないんだ
けど、でもバイト先とかで仕事だったらべらべら喋れるのってなん
なんだろうって。

浅見 | この前、奈良の「たんぼの家」という福祉施設で行われてた、
USTREAM 配信とラジオ送信をして、それを公開収録する「24 時間こ

すべての「ヤラセ」的なものからできるだけ距離をとる（吉岡）

たつらチヲ」ってイベントをお手伝いしたんですね。メンバーには今までラジオやUSTREAMに出演した人がいなくて、司会の人も初めてのラジオとUSTREAMだったんですけど、マイクを持って話すと、ぼいんですよね。明らかにその場にはいない、視聴者のことを意識して話していて、それがすごい面白くて。器用だったってこともあるんですけど、なんなんだろうなって思っ。ここにいない人に向けての話ということが、感覚的にやってて、それが伝わったんです。抑揚とか、雰囲気がいつもとちょっと違う。

山羊 | マイク持つと急になんか変わる気がする。

浅見 | イベントまでミーティングしてた場所と同じ場所で配信をしたんですけど、こんなに変わるんだって思っ。

吉岡 | 場所に喋らされてる。

浅見 | かなり、それは感じました。

山羊 | このツアーの最初は高橋さんと2人で市美からスタートしたでしょう。やっぱりボイスレコーダー回っているだけで普段高橋さんと茶しばくとは違うな、って感じがしましたね。「バラ人の移動座談会での会話」みたいななのがどっかに頭にあるというか。

吉岡 | 東北大震災の後に、被災地の高校生がドキュメンタリー映像をつくるというのを、ぼくらが一緒に見た映画『ワンダフルライフ』（本誌 no. 002 参照）を撮った枝裕和さんが指導するっていうドキュメンタリーがあったんだけど、最初は現場の高校生で当事者だから、東京から行って取材するようなのとは全然違うのができるのじゃないかっていう期待があったのだけ。高校生だから、被災したクラスメートにもいろんなこと率直に聞けるんじゃないかと。でもやってみたら、全然ダメ。つまりカメラを持って、マイクを持って行った瞬間、まるで普通のテレビ番組のインタビューみたいになってしまう。インタビューしてもテレビの下手くそなレポーターみたいなしゃべり方になってしまう。まずそれを壊すことから始めないといけない、というのがあった。いつものように喋りなさいと言ってもマイク向けられた瞬間それはできない。高校生だろうと大人だろうと、関係ないね。メディアのこの拘束力はすごくて、まず第一歩は、それを何とかして捨てること。これが一番大きな課題だ。だって自分たちでドキュメンタリーつくるのに、普通のテレビ取材の素人っぽい再現になったら、観てもしょうがないでしょ。そんなありきたりのことは、プロに任せておけばいい。ぼくらは、そういうのは捨てるということから出発すべきです。

山羊 | 捨てるためにはどういう手段があるんですか？

吉岡 | 徹底的に追いつめて泣かせるとか。いや、泣くことが大事なわけじゃないけど、自分の感情を出さないといけない。テレビのレポーターは普通、泣かないでしょう。どんな話題でも冷静だよ。それがプロの限界。もうこういうのは、先がないです。でも一般の人も、

そういうプロの論理におかされていて、どこか防衛している。街頭でインタビュー受ける人でも、カメラとマイク向けられた瞬間に、もう普通の喋り方じゃなくなってしまう。瞬間的に。しかも、街頭インタビューとか取材にはヤラセも多いという人もいる。今に始まったことでなく、そもそも昭和20年の敗戦の玉音放送の写真も、ヤラセだと言う人もいる。土下座したり国民服を着て泣き崩れている青年とか。でもぼくは、こうした問題で本当にヤラセだったかどうかは、必ずしも決定的ではないと思うのです。こういう風に演技してくれと言われなくても、カメラとマイク向けられたら、多くの人はメディアが望むように演技してしまうのだから。

高橋 | 天皇陛下の玉音放送、当時聞いていた人はよく聞こえなかったって言いますよね。

吉岡 | うちの母親はその当時15歳やったけど、何言ってるか全然わからなかったって言ってました。終わった後、「今の何？」って、みんなで言いあったらしい。でも、結構多くの日本人が前からこの戦争日本負けるんじゃない、と思ってたんだよね。そういう噂が流れてくるけど、口には出せないと思っていた。なので「この陛下のお言葉、意味分かんけど多分負けたということなんじゃないかな」って、思ったという。悲痛というより、これからどうなるんだろうって、みんな呆然としていた。だから聞いた瞬間に衝撃を受けて泣き崩れるなんて、そんな芝居がかったことはなかったと言っていました。

ある話題についての言葉や映像が繰り返し流されることによって、それが悪意のあるヤラセかどうかはともかく、こういう話題についてはだいたいこういう風に反応し、こういう風に語るものである、というフォーマットを植え付けられてしまいます。対立する意見があったり議論があったとしても、その対立の仕方や論争の仕方は決められている。だから、どんな立場をとっても良い討論会みたいなものでも、「何かの立場をとる」というフォーマットが決まってるから、演技しているという意味でのヤラセではなくても、「ヤラセ」的なものであることには変わりないのです。

『バラ人』の座談会は、延々とおしゃべりをするという方針で進めてきたけど、これはある意味では、ぼくらがすべて影響を受けているすべての「ヤラセ」的なものからできるだけ距離をとるという試みでもあった。おしゃべりというのは、議論でも討論でもない。テレビの討論番組なんて、議論で説得することが目的ではなく、たんにその時間内にできるだけ目立つことが有利なんだから、どんだけ辻褄あってなくてもたくさん喋れば目立つから、それを競ってるだけじゃない。どれだけ自分の好きなこととかという勝負で、声が大きくて面白いことと言ってウケたら勝ち、みたいな。そういうことばっかりメディアがやってきたから、ぼくらの中にもそれが入り込んでるんだよ。子供たちが会話の中ですでにそういうことやってる

大垣書店鳥丸三条店 ショーウィンドー

19:45

花嫁は憂うのか。: Solo Weddingのための3つの思索

奇妙な読みものがある。そこに奇妙な名前のダンスがあったからである。Solo Wedding / ソロ・ウェディング。 「結婚」とは相手の存在ことが前提であり、独り者は挙式しない。あるいは、ソロである者が挙式を執り行うためのあらゆる儀式を通じたならば、その素晴らしいウェディングドレスは日の目を見ることができるか？ 憂える花嫁 (I)。詩人がおぎなう「むこうがわ」の言葉 (III)。作品は、おぼろげに説明される (III)。願わくは、思索を通して、惱める人々の様々な問題や異なる苦しみが、干上がり、枯渇し、どこかへ行ってしまうように。



photo : Manon Giaccone

III：《Variables/遷ろうもの》を踊る決意―花嫁は憂うのか。

【バリ第8大学公演：抽象的な遊び】

「Solo Wedding」は、コンテンポラリー・ダンサー大谷悠の自作自演のダンス作品で、かの著名なメンデルスゾーンの結婚行進曲を、ウェディングドレス風の真っ白いワンピースを纏った大谷悠が舞うという作品だ。本作品は、2014年秋に東京で初演、11月にフランスのバリ第8大学造形芸術学部 of 学生達に向けて、二回目の公演が行なわれた。

正門から造形芸術学部の建物入り口に進む手前の広い吹き抜けの空間。真っ白な壁にガラス張りの明るい《隙間》。通りすがりの学生や職員もつい足を止める。裾裾の先には、真っ白なドレスとスニーカー、黒い短髪の花嫁。音楽が鳴り響く。1980年よりヴァンセンズに移転してから一貫して芸術表現と若い表現者の自由を擁護してきたバリ第8大学だからこそできる公認のケリラ公演だ。数百名の学部学生との交流を通じて、私は彼らの表現者への敬意と表現への熱意を知っていた。彼らの真剣なまなざしがこの異名のダンス「Solo Wedding」に注がれたのは期待通りだった。

大谷悠は、幼少よりバレエ、ジャズ、タップ、コンテンポラリーダンスを学び、演劇にも出演する。大谷の振り付けでは、表象されるものは抽象性と具象性の間を行き来する。彼女の表現にしばしば見られる「自然の流れを自ら遮断するもの」の存在は、作品中にある種の抵抗と予定調和しない意味を削り出す点で重要である。一貫した「意味」を理解されることを拒み、それでもなお、寄り添って共に考えるように我々を驚き留めようとしているのだ。

「Solo Wedding」は、孤高の花嫁が、自らの憂いを誰に訴えるでもなく淡々と自らの憂いを独白する作品である。作品中には明白な孤独の描写、つまり、不在の花嫁の描写や、不在を補完する花嫁自身の花嫁化の動作が表されるが、それらは全体として、世界の中で孤独である悲しみといった直接感情からは遠

花嫁は憂うのか。: Solo Weddingのための3つの思索

奇妙な読みものがある。そこに奇妙な名前のダンスがあったからである。Solo Wedding / ソロ・ウェディング。 「結婚」とは相手の存在ことが前提であり、独り者は挙式しない。あるいは、ソロである者が挙式を執り行うためのあらゆる儀式を通じたならば、その素晴らしいウェディングドレスは日の目を見ることができるか？ 憂える花嫁 (I)。詩人がおぎなう「むこうがわ」の言葉 (III)。作品は、おぼろげに説明される (III)。願わくは、思索を通して、惱める人々の様々な問題や異なる苦しみが、干上がり、枯渇し、どこかへ行ってしまうように。



photo : Manon Giaccone

I：Solo Wedding

大谷悠 + M.O.

私は結婚していない。
したこともなければ、する予定もない。
それでもどうして、無関心でいられない。

王子様を待たない。
結婚しないと決意することもない。
わかっていることがひとつだけある。
私がソロでここに居る、こと。

大久保美紀

く距離をとる花嫁の夢幻の遊びの中に収斂されてしまっている。無邪気に遊ぶ花嫁は、時々現実世界に引き戻されそうになりながらも、意識の中を彷徨う。花嫁は、憂うか？ あるいは孤高の遊びに没頭するか？

【《Variables/遷ろうもの》を踊る決意】

作品は鑑賞者に差し出される。鑑賞者はそれを受け取り、時にそれを拒絶する。表現は「芸術作品」として名付けられると同時に《表現者―鑑賞者》という図式に投げ入れられ、吊るし上げられて、ハブリック審判を待つ。このような古典的で保守的な様式は、鑑賞者のコミットメントを積極的に要請する参加型の作品や、鑑賞者の働きかけを前提としたインタラクティブ・アートの市民権を得た今日のアート・シーンにおいて、もはや唯一の鑑賞態度でないのは明らかだ。

とはいえ、もし「結婚」のような平凡で個人的な問題を「遷ろうまま」作品として提示したならば、鑑賞者は戸惑い、そして、批判する。それは「未完」で考察不十分、思想のレベルで揺れ動く脆弱な表現であると。このとき鑑賞者は客観的な審判を逸脱し、表現者の領域に侵入するチャンスを得る。踊り子の迷いを共に担うことが、表現の鑑賞における禁じ手だと一体誰が言うただろう？

表現は、それを享受する人々のために在ると同時に、それを行なう者のために在る。表現への意志は生きるための動機を与える。表現を享受することは、遷ろうものを共に負う覚悟を求める。両者は、対話に応じるために常に開かれていよう運命付けられ、それが繰り返すダイナミックな営みこそが、踊りの存在を可能にする。

踊りは遷在する。いつかその踊りの持てる「問題」の泉が枯渇して、ムーブメントが静止する、その時まで。

大谷悠（おおたに・はる）

1988年東京生まれ育ち、京都在住。コンテンポラリーダンサー。ダンス創作、演劇に出演するほか、写真家としても活動。

梶田祐一郎（かしだ・ゆういちろう）

京都大学大学院文学研究科修士課程在籍（美学美術史学専修）。京都を拠点に散文詩を中心とした執筆活動を行う。現在、バリ第8大学哲学科に留学中。

大久保美紀（おおくぼ・みき）

p.16 参照

Manon Giaccone(マノン・ジアコーンズ)

バリ第8大学造形芸術学部写真学科卒業、現在同大学院写真専攻、写真家として活動。日本の現代アート・写真を研究。

II：控え室（ソロ・ウェディング）

梶田祐一郎

(…)
いつも（…）いつも歩行がわたしのスタイルだった（おめでとう）わたしの食べることは食べることも歩くことに似ていたし（本当におめでとう）そうやって連れ帰ってきた雑多なものたちが部屋の隅には山をなしていて（うれしい）でも今日はぜんぶ置いてきてしまった（…）釘やくさはなや毛布や蝶やピストルや預言（ふたりの幸せ）そしておおぜいの人影（幸せを）影はすぐ逃げてゆく（心から願っている）夜のうちに（未永く）忍んでいるつもりなのだろうけどいつだって（明るくて）わたしは（楽しくて）布団の中で息を殺しながら（きっと）その輪郭を忘れずスケッチした（拍手り）それら（ハッピー）描き溜められた影たちの抽象が（ハッピー・ウェディング）今日のわたしのかたちであるあなたの（お幸せに）かたちであり（きれい）寄り添ったり（すぐきれい）転がしたり（花束をり）払い除けくぐり抜け刺しては（いつまでも）笑って（どうか支えあって）呑みこんで（いっしょに）踊る（仲良く）踊る（ふたりで）あなたはわたしの歩行（おめでとう）歩行の足あとであり（本当に）ゆえに（おめでとう）どこまでもひとりわたしである（…）

（次の合図で音楽が始まります）

（そしたらゆっくり、顔をあげてください）



photo : Manon Giaccone

* 衣 装 は 清 川 敦 子 が 大 谷 悠 作 品 「Solo Wedding」 の た め に デ ザ イ ン し た も の と し て 考 え ら れ た。



photo : Manon Giaccone



んじゃないかって。

例えば「ていうか、……」って、みんな言うでしょう。あの「ていうか」って接続詞ね、もとの意味は「言い換えると」ということじゃない、同様のことを違う言い方で言ってみると、ということ。でも今みんなが使っている用法を精査してみると、「ていうか」と言った後、ぜんぜん違うことを言ってる場合が多い。相手の言葉を遮って、しばしば全く正反対のこととか、相手の発言とはまったく関係のないことを言うために使われている。「でも」とか「しかし」とか「違う」とか、そういう逆説的・否定的な言葉の表面的なキツさを避けるために、婉曲的に「ていうか」と言っているだけで、実質は相手の全否定だから。

山羊 | それは話してて感じますね。「ていうか」って連発されると結構傷つきますね。

吉岡 | 自分が言い得てないから言い直してくれてるのならまだいい。そうじゃなくて、全く関係のないこと言ってるからね。「ていうか」って、言葉だけでつながっているような感じだよ。『ディベート』と言われてるものも、実は似たようなもんだと思う。

高橋 | 「ディベート」って型があるじゃないですか、勝ち負けが最後に決まるし、就活でもグループディスカッションってっていうのをさせられるんですけど、それもある程度正しい進行の仕方って想定されていて、それに乗るように自分の意見は「ここは言わない」ようにしたり、きれいにまとまるように考えたほうがいいとか、そっちに意識がいかって、結果的にコミュニケーションというよりはロールプレイをしているみたいになるんです。みんなロールプレイに徹しているのに、本当にちゃんと自分の意見を通そうとする人が出てくると、「なんやねんお前は」ってなって、そうするとその人は協調性がないって評価を受けることになって、就活上不利ということになる。すごいイライラするんです。どっちの側についても。

吉岡 | なるほど。でも皮肉な言い方をすると、そういう就職試験はうまくできてるよね。そういう場を設定して、同調性の高い人間を採りたいんだからね。本当の意見なんて言うやつはいらん。それを選別するためには良いシステムだよ。

高橋 | 時間内にオチをつけるっていう。私の入ってるサークルの人が、ずっとコミュニケーションについて考えてるんです。コミュニケーションがどう上手くないかと、人は孤立するのか、みたいなことをずっと言ってて。その人は「オタク」と「リア充」はコミュニケーションの方法が違うって言うんです。一般的に推奨されるコミュニケーションはyes, and なんです、でもオタクはbut でBを持ってくる。会話は順接で繋げないといけないうって一般的には思われてて、でもそこには新しい情報は全然なくて、ただ言葉を交わすことだけが目的とされているんだけど、オタクの場合は新情報が求められているわけです。より深いところの話をしたがるので、相手を尊重するかという

合コンさ・し・ず・せ・そ

さ…流石！
し…知らなかった！
す…すごい！
せ…センスいい！
そ…そうなんだ！

よりは、いかに新しい情報を持ってくるかっていう方向で話が回る。だからその点で齟齬がおきて、オタクと一般人は断絶が深まるんじゃないかって。議論したらない人は、相手を負かそうとかそういうことは思わなくて、ただ喋ることに意味があるんだけど、オタクは議論したがる。ずっと思ってたんです、意味をないことを言ってるんだらうって。女子はたくさん集まると誰が誰かわからなくなるんです。みんな同調するので、その子の独自の色が出なくなるんです。ただそこに「いる」みたいな。正しいタイミングで、正しい相槌をうつ。よく女子のコミュニケーションは「音ゲー」って例えてるんですけど。**「合コンさしずせそ」**とかありますけど、正しい言葉を正しいタイミングで選んで投げる、それが上手く行けば仲良しみたいな空気が出るって。

山羊 | こわー。

朴 | いつ頃からそんな身につけるんですか。

高橋 | わかんないです。私はそれができなくて高校とか浮いてたし、今もできないところがあるので、みんなどこで身につけたんだらうって思います。私はずっと「but」って言ってたんですよ。

吉岡 | 女子は小学校高学年くらいから訓練されてる気がするなあ。

浅見 | そうですよ。その頃くらいから空気を乱しちゃいけない空気みたいなのが、教室の向こうから男子に伝わってきてましたよ。

吉岡 | そういうことが社会の隅々まで浸透していますが、この『バラ人』は、少なくともそれとは違うおしゃべりの可能性を追求してきたのだと思います。何か有意義なことを言うために話すのでなく、話すために話すということ。話すことを終わらせないというのが、芸術活動の中心であるとは僕は思っている。この冊子が「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015」と本当はどういう関係があるのか、**実は最後まで分からなかったのだけど、それは、それでいいような気がしています。**

……

* これは、2015年1月12日に行われた「会期前! PARASOPHIAツアー 2015」の中で交わされた会話の記録の一部です。

営業時間 | (平日) ランチ 11:30-15:00 (L.O.14:30)
ディナー 17:00-22:30 (L.O.22:00)
(土日祝) 11:30-22:30 (L.O.22:00)
定休日 | なし
住所 | 京都市中京区三条東洞院東入ル菱屋町 32-1
電話 | 075-211-3949

京都府京都文化博物館 別館より徒歩 30 秒



バラ人の歩み

2014 年

10月7日(火) ノーベル物理学賞が赤崎勇、天野浩、中村修二に決まる
17:00-18:00 MT 7名 4・5号について
10月22日(水) カナダの首都オタワの国会議事堂で銃乱射事件
10月24日(金) 風営法改正、クラブの24時間営業が可能に
10月25日(土) 西アフリカにおけるエボラ出血熱の感染者が1万人を超える
11月10日(月) 約2年半ぶりの日中首脳会談
11月21日(金) 安倍首相、衆議院を解散
12月3日(水) るくてなし子、北原みのりとともに猥褻物公然陳列の疑いで再逮捕
18:30-20:30 MT 6名 コンテンツ検討
12月12日(金) 「今年の漢字」が「税」に決まる
12月14日(日) 第47回衆院選挙、自公連立与党が大勝
12月16日(火) 19:00-21:00 MT 6名 コンテンツ検討

2015 年

1月4日(日) 13:00-14:30 MT 5名 コンテンツ検討
1月7日(水) 「シャルリー・エブド」パリ本社銃乱射事件
1月12日(月) 12:00-21:00 7名 会期前! PARASOPHIA ツアー 2015
1月15日(木) グーグルが「グーグル・グラス」の個人向け販売中止を発表
1月20日(火) イスラム国、日本人2人を人質にとり身代金2億ドルを要求する動画を公開
18:30-20:30 MT 5名 編集作業
1月23日(金) 横綱・白鵬の優勝回数が23回と史上最多を記録
1月26日(月) 18:00-20:00 MT 4名 デザイン校正
1月29日(木) 校正作業
1月30日(金) PARASOPHIA 第4回記者会見
2月10日(火) 入稿



バラ人 no. 004

2015年02月10日 発行

バラ集長：吉岡洋

バラ人達：浅見旬、榎本悠人、上村優、近江ひかり、
古俣皓隆、佐藤健太郎、清水明日香、
角千波、高橋奈々、根津歩、野海智子、
朴星桓、橋本柚香、蓮田真優美、元行まみ、
山羊昇、安田七海、尹志慧、好光義也、
渡邊拓也

デザイン：浅見旬

イラスト：南田真吾

写真：成田舞

発行：京都国際現代芸術祭組織委員会

ISSN 2188-5435

助成：一般財団法人 ニッシャ印刷文化振興財団

京都国際現代芸術祭組織委員会事務局

(PARASOPHIA 事務局)

〒604-8152

京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町 645

flowing KARASUMA 2 階

TEL：075-257-1453

FAX：075-257-1454

MAIL：info@parasophia.jp

www.parasophia.jp

© 2015 Kyoto International Festival of Contemporary
Culture Organizing Committee. All rights reserved.

前売チケット 発売中

一般:1400円(18歳以下)

大学生または70歳以上:900円

※()内は当日料金 ※高校生以下及小学生は別途料金

※2015年3月6日(金)まで

前売券取扱窓口=●チケットぴあ(Pコード:700002-9999 WEB:pia.jp/t/ ●ローソンチケット

WEB: l-tike.com/ ●イープラス WEB: e-plus.jp

PARASOPHIAチケットセンター

TEL:06-6224-3131

受付時間:10:00~18:00

「ハフ人」とは「PARASOPHIA 京都国際環境文化祭(2015)」に向けて
ほぼ季刊で発行されている「平」公式出版物です。
吉岡洋(ハフ編集と学生等有志(ハフ人たち))によって、自主的に活動が行われています。